

マリンバがクラシック音楽の楽器としての地位を確立してから約半世紀になります。

しかし、ピアノやバイオリンに比べると、まだまだその音に触れる機会は少なく、また、マリンバの曲にはその新しさ故に、難解な現代作品が多いという一面があります。

私は「一生の楽器」と決めたこのマリンバの素晴らしさを少しでも多くの方に知っていただきたいと願って、親しみやすい曲を中心に演奏活動を続けております。

このニューアルバム「マリンバの贈り物～クリスマスの日に～」には作曲家織田英子さんがマリンバとピアノのためにお馴染みの曲をアレンジしてくださったものが27曲収められています。

本当に珠玉のような曲の数々です。

きっと、マリンバを、そして織田サウンドを楽しんでいただけることと存じます。



聴かないと損ですよ 青島 広志

何と楽しい音楽なのでしょう！

だいたい、クリスマスにちなんだ曲がこんなにあるなんて知りませんでしたし、マリンバという楽器がこれほどまでに、聴く人に生きる喜びを与えてくれるとは、思いもしませんでした。

マリンバというと、現代音楽の世界では、おどろおどろしい、演奏者の「業」のようなものを見せる楽器になってしまいましたが、このディスクには、たしかに「木琴」が毎朝ラジオから流れ、その日の幸せを約束してくれた時代の流れを汲む演奏が溢れています。

明瀬さんが、いつか私に曲を頼んでくださる日がきてほしいものですが、一生の仕事に巡り合う勇氣のない私は、せめてこのディスクをかけっ放しにして楽しむことにいたしましょう。

明瀬 由武／マリンバ

10才よりマリンバを始める。東京芸術大学器楽科卒業。マリンバ・打楽器を高橋美智子、有賀誠門、学外にて斉藤鍵、朝吹英一、安倍圭子、田村拓男、田中和男の各氏に師事。読売新聞後援コンクール2位入賞。在学中より各ラジオ・テレビに出演。ポピュラーの分野でも全国的に演奏活動を行なう。NHK FMにて新実徳英「For Marimba I」、西村朗「ソロマリンバのための詩曲」等々、数多くのマリンバ作品の初演をする。1977年より80年まで青年海外協力隊々員として中米コスタリカに滞在し、国立音楽院ソルフェージュ科教授、国立交響楽団打楽器奏者として活躍。在任中、国立劇場をはじめ各地にてリサイタルを行なう。現在、東京・大阪・つくばをはじめ各地にて演奏活動を行っている。

高瀬 奈美／ピアノ

武蔵野音楽大学器楽科卒業。石渡恵子、横尾紀美子の両氏に師事。在学中より打楽器の共演者として活躍。現在多数の演奏活動の他、コンサートの企画も行なっている。

織田 英子／編曲

東京芸術大学作曲科卒業。池内友次郎、矢代秋雄、永富正之、佐藤眞の各氏に師事。「上野の森プラス」のアレンジャーをはじめ、作・編曲家として活躍中。主な作品に「金管5重奏」「ピアノ連弾曲集」(東芝EMIよりCDとレコード)「12の英雄的行進曲(テレマン作曲)」(フランス、J.M.フェュー社刊)「上野の森プラス金管5重奏セレクション」全6巻(ヤマハ教販刊)などがある。

購入方法

TEL&FAX: 0298 (85) 0817 (明瀬)

電話またはFAXでご注文下さい。お振り込み確認後、即日製品を発送させていただきます。(送料無料)

郵便振替: 00300-7-39456

加入者名: 明瀬由武

マリンバリサイタル基金